



春の訪れを待つ真冬の能代港

白神森林組合

本・支所名	電話番号
本所	0185-54-9300
能代支所	0185-54-7402
八峰支所	0185-77-2132
三種支所	0185-84-2030
藤里支所	0185-79-1562
二ツ井支所	0185-73-2938
木材流通センター	0185-59-2605

CONTENTS

P 2…………新年のごあいさつ

P 2～3…………新しい総代のご紹介

P 4…………地区座談会の中止について

P 4…………秋田県森林組合大会



新年のごあいさつ



代表理事組合長 金野 忠 徳



新年おめでとうございます。
組合員の皆様も家族ともども、ご健勝にて新年を迎えられたことと、お喜び申し上げます。

さて、昨年一年間を振り返って見ますと幾多の大きなニュースがありました。

特に衆議院議員の任期が四年目の満期となり、十月三十一日の改選の結果、自由民主党が引き続き政権を握ることとなりました。

また、新型コロナウイルスは、新たな変異株「オミクロン株」と形を変えて現れ世界を騒がせています。もしかすると、今年もこのウイルスで世界中が振り回されることになるかも知れません。

一方、私達や林業に携わる事業者にとって大きな課題であった原木丸太の販路の拡大については、我が国でもトップクラスの製材大手の「中国木材(株)」が能代市の工業団地に進出することになり、大いに期待しているところです。

これを機に、中国へ輸出していた、任意団体「県北地区森林・林業活性化協議会」が発展的に解消され、新たに「米代川流域森林・林業活性化協同組合」(略称米代川森林協)として三十九社の会員が集まり、昨年の十一月一日に全員参加で設立総会が開催されたところです。

このことにより、秋田県林業の大きな課題であった需要の拡大は、大きく改善されることになると期待をしています。

我々林業従事者にとって、今後の大きな課題としては、皆伐後のヤマを如何にして一〇〇%新植再造林をしていくかであり、(現在の私有林は皆伐面積の約二十五%より植付けをしていない)このまま続くと、将来秋田県のヤマでは「スギ」の立木が無くなることは明らかであります。

そのため、白神森林組合では令和元年から組合員が皆伐した後には再造林をする場合には、所有者負担ゼロで植林をしているところです。このような現状を組合員みんなで認識して「切ったら植える」を合言葉にして頑張りたいと考えているところです。

結びに、森林・林業を取りまく課題はいくつかありますが皆で知恵を出し合っ一つずつ問題を解決していきたいと考えておりますので皆様の意見を切にお願いをし、年頭のご挨拶いたします。

新しい総代のご紹介

1月7日の選挙公告で始まった総代選挙。13日までの立候補届の受付、14日までの辞退届の受付を経て、無投票で200人の新総代が決定しましたので、組合員の皆様にご紹介します。新しい総代の任期は、2022年2月1日から2025年1月31日までの3年間です。

第一区 東八森〔定数十二名〕

大高	丸山	丸山	丸山	白山	本庄	工藤	石岡	橋本	堀内	堀内	諸沢
良博	厚博	優正	龍正	忠夫	隆士	敏弘	敏弘	敏弘	之紘	耕悦	
(八森)	(八森)	(八森)	(八森)	(八森)	(古屋敷)	(本館)	(浜田)	(浜田)	(浜田)	(浜田)	

第二、三区 観海、岩館〔定数十五名〕

鎌田	藤田	須合	加賀	日沼	加藤	石上	大塚	門脇	吉村	佐々木	干場	平沢	三輪	須藤
勝雄	喜美雄	芳詔	粕夫	正清	昇	清	博美	敏美	澄男	潮	憲三	信安	清美	義孝
(中浜)	(中浜)	(茂浦)	(茂浦)	(茂浦)	(五輪台下段)	(山内)	(山内)	(山内)	(滝の間)	(小人川)	(岩館)	(岩館)	(岩館)	(岩館)

第四区 沢目〔定数十二名〕

金谷	阿部	中山	鈴木	佐々木	成田	鈴木	後藤	塚本	武内	木藤	金谷
博孝	富廣	敏信	鉄義	一衛	悟	久明	芳	覚	武彦	直	賢
(水沢)	(水沢)	(上中田表家後)	(三ツ森)	(目名湯)	(目名湯)	(岩子)	(大久保岱)	(桑木谷地)	(高野々)	(田中)	(沼田)

第五区 埴川〔定数七名〕

後藤	今井	武田	福士	佐藤	柴田	薩摩
和雄	猛	清春	正信	久榮	宏	博美
(埴川)	(大信田)	(畑谷)	(石川)	(石川)	(石川)	(石川)

第八区 常盤〔定数十五名〕

佐々木	佐藤	佐藤	松山	桐越	石川	与齐	佐藤	須合
弘	幹夫	良信	慶信	範雄	貢	清	勇	隆之
(湯ノ前)	(熊野堂)	(高森下)	(砂子田)	(榎木岱)	(魔面)	(外割田)	(荻橋)	(天内)



須合 広見 (天内)
 鈴木 一真 (町辺)
 鈴木 信芳 (町辺)
 工藤 朗 (久喜沢)
 赤石 一弘 (国見)
 須藤 辰慶 (四日市)

第七、八区
能代、浅内〔定数十三名〕

見上 清隆 (朴瀬)
 鷺尾 一 (朴瀬)
 芳賀 幸輝 (朴瀬)
 工藤仁五門 (八幡下)
 藤田 祐紀 (田屋)
 中田 雅俊 (畠町)
 福田 幸夫 (鳳凰岱)
 山田 康幸 (長崎)
 小杉山 進 (鹹測)
 原田 正紀 (浅内)
 大塚 博益 (河戸川)
 金谷 利彦 (浅内)
 小川 国男 (浅内)

兄玉 實 (鶴形)
 小林 昭雄 (鶴形)
 長内嘉右門 (鶴形)
 吉岡 広勝 (松山)
 周防 勝良 (松山)
 鎌田 文尋 (上母体)
 平川 金治 (松山)
 戸松 勇孝 (小沢口)
 渡部 繁 (高山下)
 長岡 修一 (新田)
 鶴木 英雄 (犬伏台)
 落合 勘市 (大森)

第九、十区
鶴形、松山〔定数十二名〕

第十一区
響〔定数十二名〕

佐藤 亨 (切石)
 佐藤 高志 (切石)
 七尾 辰美 (田代)
 清水 一也 (田代)
 吉岡 和男 (仁代)
 畠山 治義 (仁代)
 畠山 恒春 (仁代)
 佐藤 芳正 (小掛)
 成田 政弘 (小掛)
 吉岡 正雄 (鬼掛)
 藤田 悦雄 (鬼掛)
 田中 英一 (鬼神)

第十二、十三区
種梅、富根〔定数十四名〕

佐藤 浩美 (種)
 成田 吉也 (種)
 穴山 卓也 (種)
 畑山 岩髓 (外面)
 安部 清勝 (田ノ沢)
 安井 重雄 (田ノ沢)
 齊藤 正美 (馬子岱)
 齊藤 良吉 (小滝)
 安井 唯男 (梅内)
 工藤 孝一 (駒形)
 池端 克巳 (富根)
 池端 正一 (富根)
 高橋 勇次 (富田)
 工藤 保雄 (羽立)

第十四区
二ツ井〔定数七名〕

小林 義昌 (三千苅)
 越前谷勝正 (比井野)

越前谷 弘 (比井野)
 藤田 健 (狐台)
 成田 三男 (三千苅)
 佐原 操 (海道上)
 田中 翼郎 (薄井)

第十五、十六区
天神、荷上場〔定数八名〕

高橋 善和 (小繫)
 畠山 徳美 (小繫)
 工藤 学 (麻生)
 原田 幸男 (下田平)
 菊池 光作 (荷上場)
 伊藤 英雄 (荷上場)
 菊池 務 (荷上場)
 菊池 二二三 (荷上場)

第十七区
藤琴(大沢を除く)〔定数十三名〕

下坂保太郎 (藤琴)
 塚本 開 (藤琴)
 加茂谷紀夫 (藤琴)
 佐藤 巧 (藤琴)
 村岡 秀一 (藤琴)
 淡路 春市 (藤琴)
 佐々木吉一 (藤琴)
 中嶋 英雄 (藤琴)
 山田 栄一 (藤琴)
 石田 茂夫 (藤琴)
 川村 昭悦 (藤琴)
 市川 清一 (藤琴)
 田代 滋穂 (藤琴)

第十八区
粕毛、大沢〔定数十一名〕

福司 栄 (粕毛)

八田 芳春 (粕毛)
 川村 広善 (粕毛)
 小山 清幸 (粕毛)
 加藤 博正 (粕毛)
 加藤 徳良 (粕毛)
 淡路 宏三 (粕毛)
 石岡 勝信 (大沢)
 淡路 勝廣 (大沢)
 石岡 昭 (大沢)
 飯坂 幹雄 (矢坂)

第十九、二十区
金岡、八竜、森岳〔定数十七名〕

石井 芳久 (新田)
 山田 仁史 (外岡南)
 珍田脩一郎 (羽立東)
 高橋善之助 (和田)
 西坂 則雄 (鶴川)
 信太 博康 (白間台)
 池内 悦雄 (金光寺)
 笹村 敏一 (金光寺)
 三浦 利幸 (金光寺)
 石井 克己 (高田)
 田村 裕次 (塞ノ神)
 加藤 成 (町尻)
 工藤 浩司 (岩瀬)
 高松 正嗣 (小中野)
 安藤 賢藏 (泉八日)
 石川 長輝 (二ツ森)
 小林 淳 (木戸沢)

第二十一区
下岩川〔定数十三名〕

北林 正一 (増沢)
 岩谷 優 (向達子)
 近藤 福雄 (達子)
 近藤 俊一 (達子)

後藤 守 (館ノ下)
 石井 雄一 (不動田)
 近藤 正一 (長面)
 近藤 勘一 (十二林)
 近藤 薫 (十二林)
 佐藤 勝雄 (外ノ沢)
 板倉 雅美 (宮ノ目)
 板倉 勇雄 (中野)
 近藤 光明 (小町)

第二十二区
上岩川〔定数八名〕

飯塚 巧作 (小新沢)
 加藤 昌晴 (羽立)
 渡辺 誠幸 (新屋敷)
 加藤 和敬 (勝平)
 工藤 悟 (勝平)
 川上 義英 (塚ノ岱)
 工藤 祐雄 (上砂子沢)
 河村 成人 (増浦)

第二十三区
鹿渡〔定数十二名〕

小玉 昭則 (三倉鼻)
 大山 久典 (上谷地)
 田中 国光 (内鯉川)
 近藤 誠 (川代)
 藤原 孝得 (山谷)
 国塚 辰夫 (高屋敷)
 鴨田 兼公 (泉沢)
 宮田 貞生 (東二本柳)
 田村 浩一 (焼野)
 牧野 克資 (深馬内後)
 板垣 勝蔵 (市野)
 川村 正悦 (八日市)

訃報

謹んで故人のご冥福をお祈り申し上げます

理事 (能代市)	理事 (能代市)
故 佐々木	故 矢口
学 様	紀 治 様

令和3年度

地区座談会の中止について(お知らせ)

昨年11月の理事会において開催を決定し、準備を進めておりました「地区座談会」についてですが、今年に入り、新型コロナウイルス感染者数が当組合管内において97人(1月18日現在)と非常に多く、秋田県の警戒レベルも、当組合管内限定でレベル3に引き上げられたことなどを鑑み、「地区座談会の中止」を決定いたしました。

なお、座談会資料に替え、ホームページに当組合の最新の取り組み事項等を掲載いたしますので是非ご覧下さい。



第65回 秋田県森林組合大会



令和3年11月16日(火)秋田テルサ(秋田市御所野)において第65回秋田県森林組合大会が開催されました。開会のあいさつの中で大会会長である佐藤重芳秋田県森林組合連合会会長は中国木材の能代市進出について触れ、系統として喜ばしいことと述べられました。

また、再造林推進優秀組合(秋田県知事賞)として当組合が表彰され、小山内一郎副組合長が登壇し受賞いたしました。森林組合職員永年勤続者(20年勤続)として鈴木智樹、佐々木正光、戸松光二、佐藤真也、藤田健、塚本直史、佐々木勇也の7名、優良現場技能者として安部修が表彰されました。

大会議題として1.森林資源の循環利用と適切な管理の推進、2.県産材供給拡大に向けた対策の推進、3.森林組合系統再造林550運動の展開(5年間で再造林50%を目指す)の3つの議案が満場の拍手をもって採択され盛会裡に終了しました。



佐藤大会会長挨拶



受賞する小山内一郎副組合長